

令和7年度入試（令和6年度実施）の解答・解答例について

入試区分	大学院（一次募集）
試験区分	英語
解答・解答例	<p><b>〔解答例〕</b></p> <p>（見出し）主な死因</p> <p>（第1段落）主な死因を見ると，感染性の原因から NCDs への明確な変遷もあった。全世界的に，2000年の死亡原因の上位10位のうち5つは感染性疾患，4つは NCDs で，交通事故が唯一負傷による原因であった（図）。2019年には，死亡原因の上位10位のうち7つは NCDs で，残りの3つは感染性疾患だった。</p> <p>（第2段落）変遷のペースは地域間や所得グループ間で一様でなかった。2019年，アフリカ地域と低所得国では，感染性疾患が引き続き死亡原因の上位10位のうち7つを占め，加えて NCDs が2つ，外傷が1つだった。</p> <p>（第3段落）感染性疾患が効果的に予防または治療され，NCDs が主なリスクとなる高齢期まで生存する人々がいることに関して，2019年にはヨーロッパ地域と西太平洋地域並びに，高中所得国と高所得国で，NCDs がすでにトップ10の原因のうち9つを占めていた。これらの地域や所得グループでトップ10以内に位置した感染性疾患は，下気道感染症のみであった。</p> <p>（第4段落）死因の大分類による死因上位10位の配置は，世界的には2020年と2021年も2019年から変わっていないが，COVID-19はそれぞれ第3位と第2位の原因として出現し，全世界で（2020年に）410万人と（2021年に）880万人の命を奪った。2つの WHO 地域（アフリカ地域と西太平洋地域）を除くすべての地域で，COVID-19は2020年と2021年の死因上位5位以内に入り，南北アメリカ地域では両年ともに，南東アジア地域では2021年に最多の死者数，ヨーロッパ地域と東地中海地域では両年とも2番目に多い死者数の原因となった。アフリカ地域では，この疾患は2021年に12位から6位に上昇しただけだった。西太平洋地域ではトップ10圏外のままではあるが，2020</p>

	<p>年の 50 位から 2021 年には 19 位に上昇した。</p>
備考	<p>解答例はあくまで標準的な解答の一例です（この翻訳は世界保健機関（WHO）によって作成されたものではなく、WHO は内容、あるいは翻訳の正確さに対して責任を有しません）。</p>